

令和5年度 第2回国立大学法人静岡大学長選考・監察会議議事録

日 時 令和5年6月28日（水）16時32分～18時57分
場 所 S-Port 3階会議室
出席者 大石、栗村、鈴木、望月、金原、田中、山本、福田の各委員
陪席者 鈴木監事、佐藤事務局長、依藤総務部次長
事務局 杉山総務課長、杉山総務課副課長

I 前回議事録等の確認

令和5年度第1回（令和5年4月26日開催）議事録（案）、発言録、まとめ（案）について、原案どおり承認した。あわせて、令和5年度学長選考・監察会議年間予定表案を確認した。

福田委員から、学長の評価を学長が評価者である学内委員が行うことについて、独立性の観点から問題はないかとの質問があり、佐藤事務局長から問題はない旨、回答した。

II 審議事項

1 学長の業績評価（中間評価）について

議長から、資料1により、学長ヒアリングの実施方法及び留意事項について説明があり、これを確認したのち、議長の司会のもと、日詰学長へのヒアリングを実施した。

ヒアリング終了後、委員間で業績評価の視点を確認しながら、5つの評価区分及び全体を通しての意見交換を行った。

最後に、議長から、資料2により、各委員の作成する評価書の説明があり、評価点については0.5点単位で付すことも可能であること、5つの評価区分ごとに評価を記載のうえ最後に全体を通しての意見を記載すること、評価書は7月31日までにメールで提出することについて依頼があった。また、評価書の素案の作成にあたっては、委員の付した評価点の平均値を素案における評価点とすることについて提案があり、これを了承した。

III 報告事項

1 令和5年度第1回教育・研究評議会からの報告（学長選考・監察会議委員数）について

山本委員から、資料3により、4月19日開催の教育研究評議会で、評議員より、本学の学長選考・監察会議の委員数を増やすことについて検討いただきたいとの意見が出たことの報告があり、事務局から、他大学の学長選考・監察会議の委員数の状況について説明があった。

本会議の委員数については、前回会議で委員からも同様の意見が出ていることから、次回会議で検討することとした。

以上